

低炭素社会の構築 [環境にやさしいお買い物]

地球規模での環境問題「地球温暖化」を防止するために、2009年には我が国の目標を、2020年までにCO₂など温室効果ガス排出量を1990年比25%削減することとし、環境省は「チャレンジ25キャンペーン」を立ち上げました。2011年3月11日の東日本大震災による原子力発電所の事故を踏まえ、すべての立場で節電を要求されています。安全で持続可能なエネルギーを創造していくことが、これからの大きな課題ですが、私たち一人ひとりの暮らし方を見直し、ライフスタイルを低炭素型に変えていくことが地球温暖化防止に大きく寄与するのです。

地球温暖化とは

地球環境の現状

CO₂などの温室効果ガス（GHG：Green House Gases）の増加により、地球表面から出てくる赤外線が吸収・再放出され大気中に熱が溜まり、地球温暖化が進んでいるといわれています。本来自然界で発生したCO₂は、森林や海洋による吸収によりバランスが取れていたのですが、人間が化石燃料（石油や石炭、天然ガスなど）を消費するようになり、吸収しきれなくなっていました。

地球温暖化は、化石燃料をエネルギーとして電気を起こしたり、自動車を走らせたり、冷暖房に使用することにより温室効果ガスを排出し、また熱を放出していることが原因といわれています。このまま地球温暖化が進むと、100年後には大気中の温室効果ガスがさらに増加し、平均気温が上昇し、多くの生き物が生存できなくなるといわれています。

地球温暖化の一番の原因は二酸化炭素!!



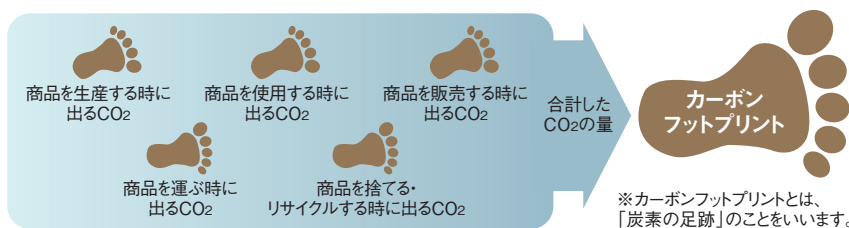
CO₂排出量を減らすための取り組み

CO₂の見える化

CO₂は大きな工場や輸送などでたくさん発生していると思いがちですが、実は私達の生活からも少なからず発生しています。

家庭での電気使用や自家用車などだけではなく、スーパーでの買い物由来のCO₂もあります。例えば店先に並んでいる野菜や果物も旬の季節の路地栽培だけではなく、石油を燃料にしてハウスで栽培された季節外れのものや、遠い海外で栽培され飛行機で届けられたものも、普通に販売され購入されています。また、商品の容器包装やレジ袋も、中身を出してしまったあとはゴミになり、焼却処分されればCO₂が発生します。買い物をするときに、地産地消や旬のものを選んだり、容器包装の少ないものやレジ袋を断れば、それだけCO₂の少ない低炭素型社会への貢献につながります。

レジ袋を断ると、1枚あたりCO₂は32.8g削減できます。肉や魚をトレイを使わずに購入すると、トレイ1枚あたりCO₂は10.7g削減できます。飲み終わったペットボトルをリサイクルボックスに持って行くと1本あたり180g削減できます。（環境省 3R見える化プロジェクト）



カーボンフットプリントの算出

ユニーで販売し、お客様に購入していただいている商品やサービスは、原料の採取、生産、運輸、販売、消費、使用後までの商品の一生（ライフサイクルアセスメント）を通じて、多くのエネルギーが使われています。そのエネルギーの多くは化石燃料から得ているので、地球温暖化の原因となるCO₂を大気中に放出しているのです。

商品の一生からそれぞれの過程で排出されるCO₂を数値で表したものがカーボンフットプリントです。

●再生紙トイレットペーパー・アローザ（ダブル）の例

